

城山中学校
だより

覇気

発行日 令和3年 3月25日(木)
発行所 小田原市立城山中学校
責任者 中島正視
住所 〒250-0045 小田原市城山 3-4-1
TEL 0465-34-0209 FAX 0465-32-7569



No. 8

3年生、102名が卒業していきました…!

去る3月11日、小田原市立城山中学校 第74回卒業式を執り行いました。コロナ禍の中、在校生の列席は避けて、保護者と来賓として自治会連合会会長様、PTA会長様をお招きしての式でした。

従来、城山中学校ではフロアを使って、卒業生と保護者が対面になる形で式を行っていました。しかし今回は、密を避けるためにステージ上で証書授与を行いました。卒業生は今まで頑張ってきた想いや、成長した自分を表そうと、きちんと返事をし、校長である自分の目を見て証書を受け取っていきました。返事の声が素晴らしかった！先生方もその想いに応えようと、マイクを使わず肉声で呼名していました…。

1、2年生は、当日の式には参加できませんでしたが、予行練習の時に3年生とのお別れができて良かったです。3年生全員での合唱を聴くこともできたし、お別れの言葉を受け止めることができました。また、生徒会長から、3年生に今までお世話になった思い出や、たくさん支えてもらった感謝などを伝えることもできました。3年生はそれぞれの進路で大きく伸びていくことを願っていますし、1、2年生には、3年生が積み上げてくれた城山中学校の伝統を、さらに確かなものへと引き継いで欲しいと想っています。けれど、先生は安心しています。1、2年生のみなさんは、学校に来るのが楽しくて仕方が無い城山中学校をつくってくれる、新しい伝統を築いてくれると信じているからです。その思いは、みなさんが卒業式の準備や片付けをしている姿を見て確信しました。遊んでいる姿をだれ一人、見ることはありませんでした。嫌々やっている表情をしている人も見ませんでした。3年生に気持ちよく卒業してもらえるようにと心を尽くしていました。そんなみなさんですから、相手の気持ちを慮ることができるみなさんですから、来年度も素晴らしい城山中学校になりそうです。楽しみです！！



「当たり前のこと」の大切さ!

甲子園球場で、選抜高校野球大会が始まりました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大で中止になりましたから、2年ぶりの大会です。開会式で、仙台育英高校の主将が行った選手宣誓が印象深かったのも、その一部をみなさんに紹介します…。

今日ここに、高校球児の憧れの舞台である甲子園が、戻ってきました。この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことでした。

しかし、同時に多くのことを学びました。当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っているということです。感謝。ありがとうございます。これは出場校全ての選手、全国の高校球児の思いです。(以下略)

当たり前のことは、無くならないと思っているが、そうではないのですね…。必ず続くことではないのですね…。

今、普通にある日常を、大切に過ごさなくてはいけない、一日一日に心を込めて生活していこうと感じさせられた宣誓でした。みなさんは、どう受け止めますか？

活発な生徒会活動!

コロナ禍の中、生徒会活動にも大きな制約がありました。生徒会が主催した全校集会は、体育館でゲーム等を計画したのですが中止となりました。その代案として、校舎内でのオリエンテーリングも考えましたが実施できませんでした。そんな中、裏面に生徒会担当より紹介してありますが、シトラスリボン活動等を実施しました。写真は医療従事者への感謝メッセージです。“これはできない、あれもだめ”という状況でも、周りのために、できる活動を作り出す生徒会活動。素晴らしい取組です。



6年生見学会を行いました!!

3月15日(月)に、4月に入学予定の6年生を迎え、体験授業、生徒会主催の学校紹介、部活動見学等を行いました。3年生が卒業したばかりで、人が少なく感じ、寂しい雰囲気もありましたが、沢山の小学生が来てくれて、賑わいを取り戻しました。

体験授業では、国・社・理・英・家庭の5教科を各グループに別れて体験しました。4月に元気な姿で会えることを楽しみにしています。



理科の授業風景より

生徒会が中心となり「シトラスリボン運動」を実施!!

新型コロナウイルスの影響で様々な行事や活動が制限された中、今だからこそ新型コロナウイルスについて考えたいと思いました。私たちができることは何なのか、感染しないことはもちろん、他にもできることがあるのではないかと。そこで生徒会総務では、医療従事者の方々へ全校生徒から感謝のメッセージを贈ること、新型コロナウイルスに感染した人や感染者が出たお店などに、差別や偏見をもたない社会づくりを目指していくことを提案しました。差別や偏見についてアンケートをしたりクラス内で話し合ったりもしました。また、シトラスリボン運動にも取り組みました。これは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛県の有志が作ったプロジェクトで、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と差別や偏見がなく言い合える町づくりを目指す活動です。

城山中学校では、一人ひとりが作ったリボンを制服やリュックにつけてみんなで差別や偏見をもたないことを意識しています。卒業式には、卒業生の保護者の方々もリボンをつけて参列してくださいました。ウイルスの次にくるのは、不安や恐怖からくる差別や偏見。恐怖に振り回されずに正しく知り、正しく恐れて、私たちにできることをそれぞれの場所でしていきたいと思えます。



シトラスリボン作成風景より

生徒会担当教諭 横山藍乃

● 4月の主な学校行事

- 5日(月) 始業式・入学式
- 6日(火) 新入生を迎える会
- 7日(水) 身体計測・個人写真撮影



- 9日(金) 委嘱式
- 12日(月) 部活動説明会
- 28日(水) 授業参観・PTA総会



学年、学級懇談会・部活動説明会

【ひと言コーナー】 3年生が、城山中学校を巣立っていきました。凜とした雰囲気の中で、堂々と卒業証書を一人ひとりが受け取っていました。さすが3年生という風格が漂っていました。新しい場所での活躍をお祈りしています。さて、在校生の皆さんは、4月にはそれぞれ学年が進級します。最上級生、中間学年としての自覚と責任を持ち各自行動できるよう努力をしてくださいね。そして新しい仲間として、1年生を迎えます。校訓の「覇気と感動」、「自治の精神」を後輩に示すことができるようにしてくださいね。そのためには自分たちが城山中生としての「矜持」を持って行動で示すことが重要です。